



発行 真宗大谷派 高山教務所
発行 出雲路 善公
〒506-0857 高山市鉄砲町6番地
☎(0577)32-0776
\*毎月20日発行 50,000部
三市一郡無料配布
印刷 山都印刷株式会社

念じられ
照らされて

サブジェクト トゥ
Subject to

中林利数



(略歴)
一九四二年、高山市生まれ。元NHK高山支局長、報道現場一筋。函館、東京、パリ、ドイツ等十回転勤。定年後の現在、日々は俳句に近いウオーキング。

戦争は、始める時より止める時の方がはるかに難しい。第二次世界大戦の終わった日は、関係各国のそれぞれの都合でそれぞれに違う。日本は昭和二十年八月十五日。昭和天皇の玉音放送のあった日になっている。八月九日の御前会議で、既にポツダム宣言の受諾が決まっていたのになぜ長引いたのか。

結の重要な手段だった。NHKは深夜に天皇の声を録音し、反乱軍に脅されつつ、命がけで放送を出した。この間に二発目の原爆が長崎に落とされた。もう少し早く放送が出せていたら...

私は戦場で兵士として銃を持ったことはないが、カメラを持った報道人として走り回ったことは少しある。中東やアフリカの内戦や革命、天安門事件などは恐かった。

戦争後、日本の統治体制についてのアメリカ側の回答は「Subject to」であった。この訳語が「従属」か「制限」かでもめた。そして本土決戦、国体護持の軍部の抵抗による「日本のいちばん長い日」となった。

昭和五十四年のイラン革命では、前日にテヘランに入り、回教(イスラム教)の指導者のホメイニ師がパリから戻るのを待ち、革命の始終取材した。国王シヤール・パレビがアメリカに逃げた

の日本料理店「弁慶」も焼き討ちをくらった。

私のオヤジ、中林米一は昭和十二年、陸軍の山砲兵として上海に上陸し、南京入城後に徐州に向かい、足を撃たれて帰国した。戦争のことはほとんど話さなかったが、死後かなり経って小さな軍隊手帳二冊が見つかった。一年半の日記が余りにも生々しいので躊躇していたが、思い切って三年前に『戦傷奉公杖』という本にした。読み返しては「ゴクロウサマでした」と言っている。

そのオヤジがバアちゃんと話していたのを思い出す。「同じ部隊に富山の坊主がいた。そいつは戦場で数珠を首にぶら下げて、絶対弾は当たらないと言っていたのに、真っ先に戦死した。仏さまなんか当てにならない」と。

この革命は「神の革命」と呼ばれ、回教のシンボルカラーの緑色の旗が立ち、中国の紅衛兵をもじって緑衛兵という言葉も出た。これが宗教者のやることかと驚きつつ、私自身も命からがら脱出した。「アラアアクバル、ウーシカホメイニ」と、回教者の叫びを真似て逃げた。勝新太郎

ず、分析したり比較したり、四の五の屁理屈こねてからの、ナムアミダブツになる。屁理屈の一つに「仏教徒だって、銃を持って戦場に向かったではないか」がある。

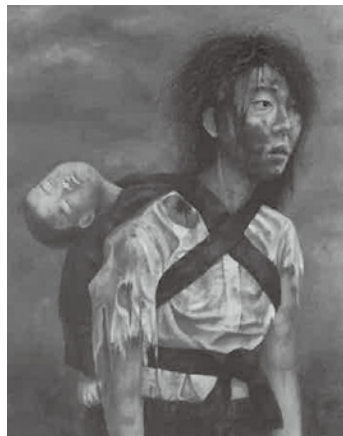
国や民族や宗教がからまる戦争が続く中で、八月十五日がまた来る。お盆で終戦の日が。オヤジとバアちゃんの眠っている墓の前で、私も少し考えよう。

終戦の日がさらにもう少し長引いていたら、高山もアメリカ軍の空襲を確実に受けることになっていた。そしたら...

非戦平和展

～あの日のヒロシマを描き継ぐ「原爆の絵」～

1945年8月6日8時15分、広島に投下された原子爆弾により、多くのいのちが失われました。そのいのちを奪った原子爆弾を作り出したのは人間自身です。非戦平和展では、広島市立基町高等学校普通科創造表現コースの生徒たちが、被爆の体験をした証言者の声を聞き取り描いた絵画を展示します。英知を集めた結果、恐ろしいものをも生み出してしまふ人間の悲しい一面を、証言者、そして亡くなった方々から、絵画を通して教えられています。ぜひ、ご来場ください。



死んだ我が子を背負う若いお母さん

期間 8月1日(木)～16日(金)
午前7時～午後6時
会場 高山別院本堂

アツい夏が帰ってくる!!
2019夏まつり 8月16日(金)
ご坊夏まつり 午後5時より

夏の晴天講座

於：高山別院 午前6時30分～

8月1日(木)

講師：藤場俊基氏(金沢教区常講寺)
講題：「浄土真宗はどのような教えか」

8月2日(金)

講師：東勝廣氏(一位一刀彫彫刻師)
講題：「人間はなんで生きているのか?」

8月3日(土)

講師：五十嵐浩子氏(高山市子供連絡協議会理事)
講題：「子育て親学び」

8月4日(日)

講師：加来雄之氏(大谷大学教授)
講題：「信心と成仏」

8月5日(月)

講師：安藤弥氏(同朋大学教授)
講題：「親鸞聖人の『聖徳太子和讃』を読む」

◎講義：各日午前9時～ 会場：御坊会館

- 8月1日～3日 講師：藤場俊基氏
講題：「仏教と人間」
8月4日～5日 講師：安藤弥氏
講題：「『皇太子聖徳奉讃』考究」

◎追弔会・法話：午後1時～ 会場：本堂・御坊会館

- 8月1日・2日 講師：藤場俊基氏
8月3日 講師：加来雄之氏
8月4日～5日 講師：安藤弥氏

飛驒学場

☎テレホン法話(0577)342313 ○7月21日～31日：小原正憲氏「専念寺」 ○8月1日～10日：西岡芳順氏「福成寺」

○8月11日～20日：前田法俊氏「法蓮寺」

宗教トラブル相談窓口(0577)3210763



家族で話そう

人生の

「こんなこと」「あんなこと」

佐賀枝 夏文

東海道五十三次の旅

お昼を軽くすませて京都駅を発つて、東海道本線の草津駅で乗り換えて、列車本数の少ない草津線石部駅へ向かいました。石部駅で下車して東海道五十三次の宿場、石部宿の町並みをぶらり。そこで小さな造り酒屋の暖簾をくぐると、老舗を切り盛りされている店主から、石部宿の由緒などのお話を聞かせていただき、長年受け継がれた宿場の地酒を買い求めました。

この旅の目的は、石部と三雲にある近江学園と、その周辺にある児童福祉施設への探訪でした。石部駅からの道のりはずいぶんあって、たつぷり歩きました。たどり着いた近江学園は、小高い丘にありました。なだらかな小道を登ると、そこにゆつたりとした学園の全貌が現れました。手入れが実にゆきとどき、清楚ななかに凜とした雰囲気を感じていました。その佇まいは、なんだかボクを待っていてくれたかのよう

に、あたたかに迎えてくれました。近江の里に咲いた福祉の花 訪問した近江学園では、まず設立に尽力した糸賀一雄先生の執務された園長室へ通していただきました。そこで先生の机と椅子に触れる機会を得、糸賀先生におもいを馳せる時間を過ごしました。糸賀先生は、学園創設に腐心された最中に病に倒

れ、比叡山の麓を流れる真野川の河畔で養生生活を過ごされました。そして、「病」を仏縁に仏教の説く世界に出会われました。仏教の説く、伸びやかで広やかな世界、それは、われわれの認識や時空を超えた世界でした。仏教の教えに出会われ、糸賀先生は「この子らを世の光に」を提唱されました。この言葉が日本の「障がい児」福祉を切り開き、そして、旧弊な考えを打ち砕いたといえます。

教育・保育・福祉実践

糸賀先生が教育・保育・福祉実践者として、生涯大切にされた仏教の教えがあります。それは、「布施」の教えにあります。布施には、金品などの経済的な救済や支援をする「財施」、仏教の教えを説く「法施」、さまざまな苦しみから救済解放する「無畏施」があります。

この他に、『雑宝蔵経』には「無財の七施」を教えが説かれています。糸賀先生は、『雑宝蔵経』に説かれた「無財の七施」に道を求め、実践されました。そして、この「無財の七施」の実践を教育・保育・福祉の道を志す人々に伝えられました。

と、最後の「房舎施」は、寝る場所を提供することですが、その方の姿をそのまま受け取ることと解釈できます。この七つの布施は、教育・保育・福祉を実践する方々の心得であり、支援を受ける人にはありがたいものです。

こころにしみる

ボクは長年、教育・保育・福祉の現場にいました。そのなかで、相手に「こうあるべきだ」と求めれば、ときには、お互いの「言い分」が衝突し、後味の悪さが残ります。配慮ある接し方から生まれる「心地よさ」はすてきです。こちらから「はたらき」かければ、互いが「やさしさ」に包まれることをしみじみと味わいました。

家族が慈しみあい、教室にはつらい仲間がいないこと、職場に居心地のいい時間が流れることは誰もが願うことですが、わたしたちは、そのことに気がつかず、相手と競い、奪いあうことに明け暮れています。人間の醜い姿は「争う」姿で、一番美しい姿は「祈り」の姿だといわれています。



次回は尾角光美さんの「仏教×グリーンケア④」です。

定例法座・法話(午後1時から) ○7月28日(日)…宮川曉声氏「暎芳寺」

○8月11日(日)…別院輪番三島多聞

どなたさまでもお参りください。

夏休みおつとめ会開催寺院

※時間に記載のない寺院はラジオ体操後

- 【高山】 圓龍寺(0577-32-3605) 7/23(火)~29(月)午後4時~(会場:三福寺56-旧吉田家) 本教寺(0577-32-1748) 夏休み中の平日(お盆まで) 秋聲寺(0577-33-9324) 7/21(日)~毎日 西蓮寺(0577-33-8090) 7/22(月)~26(金) 了心寺(0577-32-5956) 毎週日曜日 午前8時半~ 誓願寺(0577-32-5241) 7/20(土)~30(火) 寶圓寺(0577-32-4649) 夏休み中毎週火・木曜日 隨縁寺(0577-32-2567) 7/21(日)、27(土)午前7時半~ 23(火)ラジオ体操後~ 【丹生川】 還來寺(0577-78-1071) 7/22(月)~31日(水)の土日以外 【下呂】 淨福寺(0576-62-2208) ① 7/24(水)午前9時半~ ② 8/8(木)午前10時半~ ③ 8/23(金)午前9時半~ 光雲寺(0576-55-0946) 7/22(月)~8/23(金)の土日以外 ※お盆期間中お休み有 【朝日】 西教寺(0577-55-3632) 7/22(月)~8/3(土)の土日以外 午前6時45分~ 【国府】 南春寺(0577-72-2836) 7/20(土)~31(水) 西念寺(0577-72-4585) 7/23(火)~27(土)(会場:金桶公民館) 7/29(月)~31(水)(会場:桜野集会所) 【荘川】 淨念寺(05769-2-2094) 7/22(月)~8/23(金)の土日以外 午前6時半~午前7時半 ※8/13~16はお休み

- 寶藏寺(05769-2-2124) 7/22(月)~25(木) 蓮勝寺(05769-2-2043) 7/23(火)~8/2(金)(会場:下野々侯公民館) 8/5(月)~10(土)、8/17(土)~20(火)(会場:蓮勝寺) 【白川】 明善寺(05769-6-1009) 7/20(土)~31(水) ※不定期お休み有 法蓮寺(05769-6-1151) 7/22(月)~31日(水)午前6時45分から 常徳寺(05769-5-2029) 7/21(日)~30(火)

子ども会開催寺院

- 【岡本町】 願生寺(0577-32-0032)月1回 土曜か日曜 午前9時~午前10時半 玄興寺(0577-34-3740) 8/6(火)午前10時~ 流しそうめんします! 【一之宮】 往還寺(0577-53-2004) 8/18(日)午前8時~9時 【久々野】 久々野教会(0577-53-2004) 8/25(日)午前8時半~9時半 【上呂】 光雲寺(0576-55-0946) 宿題会 7/22(月)~8/23(金)の土日以外 午前9時~午前11時 ※お盆期間中お休み有 おたのしみ会 7/29(月)午前9時~午前11時 紙しばい・ボン菓子実演あります! 【宮田】 賢誓寺(0576-55-0747) 7/23(火)午前9時~11時 おとまり会 8/19(月)~20(火)午後4時半~午前9時

お近くの寺院へ是非ご参加ください!

ご回壇案内

ご回壇は、各寺院を会場にご坊が出向いてご門徒とつとめ聞法の場です。

【7月】 21日(日)久々野教会

【久々野町】 西教寺「朝日町」 大徳寺「高根町」

【8月】 27日(土)法正寺「朝日町」

【8月】 8日(木)秋聲寺「八日町」 18日(日)常徳寺「白川村」

【8月】 19日(月)法蓮寺「白川村」

【8月】 24日(土)蓮光寺「白川村」

【8月】 24日(土)蓮光寺「白川村」

おすすめの1冊

子どもたちと一緒に おつとめませんか?

子どもたちみんなに自分の勤行本を持つてほしい。そしてこれからも「正信偈」を歌い継いでほしい。そんな願いをこめて、子ども向けのおつとめ本をつくりました。子ども会やおつとめの練習に。また子どもさんはもちろん、子どもさんのいらつしやる「家庭でもぜひ活用ください」



青少年勤行集 価格 300円(税込)

別院定例法座 午後1時から

7月28日 親鸞聖人ご命日法座

講題 「地獄一定」

講師 宮川 曉声氏 (暎芳寺)

8月28日 親鸞聖人ご命日法座

講題 「仏弟子の名のりに愧ず 一仮名の菩薩」

講師 春國 文春氏 (玄興寺)